

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	武蔵村山市自立支援協議会
開 催 日 時	平成29年5月25日（木）午後1時30分 ～午後4時30分
開 催 場 所	市民総合センター3階 集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：椎木 俊秀、栗原 玲子、柳 清美、須永 美智子、岩瀬 香世、押田 友紀子、網代 栄一、大槻 満、高橋 毅、佐々木 久子、加納 敏、平 政隆、小泉 久美子、利根川 正、榎本 勝、諏訪 潤 欠席者：大沼 眞弓、宮澤 ひとみ、馬場 均、梶原 勲 事務局：松下課長、齋藤主査、石川主査、石川主事、樋口主事
議 題	1 報告事項  (1) 第4回武蔵村山市自立支援協議会会議結果について (2) 武蔵村山市第四次障害者計画・第五期障害福祉計画の策定について (3) 障害者福祉の手引について (4) サービス事業者部会等の報告について (5) その他  2 議題  (1) 放課後等デイサービス事業者部会に関係団体の出席を求めることについて (2) その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1について：放課後等デイサービス事業者部会に関係団体の出席を求めることで合意
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)  ●会長 ○委員 ■事務局	■開会の前に、障害福祉課で人事異動があったので紹介したい。齋藤主事が業務グループに移動し、樋口主事が援護第二グループに配属となった。また、新たな委員の委嘱をする。保健医療関係者より栗原委員、雇用関係者より小泉委員、公募委員より諏訪委員。市長に代わり、課長が委嘱書をお渡しする。 次に、障害者団体の代表として参加していた大勝委員の選出母体が解散したため、委員の要件を喪失したことを報告する。  ●本日の配布資料に委員名簿があるので各自で確認をお願いする。会議の前に本日の配布資料の確認を事務局よりお願いする。  ■事前に配布したもの3点と本日配布したもの7点である。  ●自立支援協議会を開会する。事務局より第4回武蔵村山市自立支援協議会会議結果について報告頼む。  1 報告事項

(1) 第4回武蔵村山市自立支援協議会会議録結果について

■事前に配布をし、委員より修正点等の意見が無かったので配布した会議録を正式なものとする。

●次の報告事項を事務局より願います。

(2) 武蔵村山市第四次障害者計画・第五期障害福祉計画の策定について

■事前に配布した資料の中に計画についての資料があるので確認してほしい。

武蔵村山市第四次障害者計画・第五期障害福祉計画について説明以上が計画策定について現時点で委員に報告できる内容である。

●今の報告について質問等があるだろうか。

●以前からこういった計画については話があるので内容は把握しているが、策定委員については市の職員などが任命されるとのことだがどういった役職なのか。

■今、予定しているのは健康福祉部部長、高齢・障害担当部長、企画財務部財政担当部長、企画財務部企画政策課長、市民部保険年金課長、協働推進部協働推進課長、健康福祉部地域福祉課長、子ども育成課児童担当課長、生活福祉課長、健康推進課長、都市整備部都市計画課長、教育部文化振興課長などが主なメンバーとなっている。

●自立支援協議会の前に策定委員会が出た案などは教えてもらえるのだろうか。

■策定委員会で決定したものについては自立支援協議会の一週間ほど前には通知したいと思っている。

●委員の皆様も計画について資料などを通して知識を深めていってほしい。次に「障害者福祉の手引」についての説明願う。

(3) 障害者福祉の手引について

■毎年、障害福祉課で作成している「障害者福祉の手引」について説明する。難病医療費助成制度の対象となる疾病が24疾病増え330疾病となったので確認をしてほしい。また事業所などの所在地や連絡先を掲載しているが修正点などがあれば意見を頂きたい。

○多摩立川保健所が立川市柴崎町から立川市羽衣町の仮庁舎にうつっているので修正を願います。

■次回新しいものを印刷する際には修正したものを配布させていただく。

●部会報告を願います。

(4) サービス事業者部会等の報告について

●訪問系サービス事業者部会より報告願う。

○部会については事業者の都合により、メンバーが集まるのが難しいことがあり、電子メールでのやり取りによる会議を行いたいと市に打診した。また部会の回数を年6回から4回に変更した。

今年度の活動についてはパネルディスカッションを行う。昨年より利用者の数を増やす方針である。また、引き続き、ヘルパー不足についても話し合っていく。

加納委員がNPO東京バリアフリー協議会に表敬訪問し、ヒアリングした。グーグルマップなどに障害者向けの情報を載せるとのことである。武蔵村山市でもできないかとの意見も出た。

●前回の会議でもヘルパー不足の話が出た。その時に、次回の会議までに何か意見などを考えてくるとなっていたが、意見等はあるか。

○意欲があっても敷居が高いなどがあり、事業所などにはコンタクトを取りづらいと思う。市民総合センター内で人員募集のボードなどを設置できないか。

■市としてはヘルパー不足を認識はしているが、市が募集主にはなれないので、難しいところがある。しかし、何らかの形で携わっていきたい。ヘルパーの初任者研修については市のHPにリンクを張るなどしていく方針である。

●市として直接的に関われなくても、市のHPにリンクを張るなどの間接的なものでいいので積極的に問題解決に取り組んでほしい。

●次に日中活動系サービス事業者部会より報告願う。

■本来であれば、部会長が報告するのであるが、自立支援協議会委員ではなく、会議に出席できないため、事務局より報告する。

2月に行われた部会では各事業所の見学会の報告が行われた。また、弁護士を招き、人権研修を行い、それについての報告も行われた。

4月の部会では、今年度の部会長と役員を選出と今後の取り組みが議題となった。今年度の取り組みについては事業所の見学会と講習会を行うこととなった。講習会の内容としては、職員のメンタルヘルスについて、アセスメントについてなどが候補に挙がっている。

●今後の日中活動系サービス事業者部会の報告は誰が行うのか。

■今後、調整を図らせていただく。

●報告者については今後の部会でも話し合ってもらいたい。ここで、休憩とする。

- 休憩 -

●居住系サービス事業者部会より報告願う。

○武蔵村山市のグループホームの空き状況や事業者の情報を載せたボード

を設置したい。居住系の情報だけでなく他のサービスの情報も載せたい。

●ヘルパー不足の問題の時にも触れたが情報コーナーを設置するなど、情報発信については各部会でも話し合っていてもらいたい。

○居住系の部会で以前同じ意見が上がり、障害福祉課のHPに情報を載せてもらうとの意見が出たがどうなっているのか。

■現状としてはそういったものは無い。

●情報発信については今後も検討してもらいたい。次に相談支援サービス事業者部会より報告願う。

○各事業者がどのような事業所とかかわり、連携を取っていくのか把握できるように社会資源リストの作成について話し合った。また、計画相談の状況の報告を行った。そして、虐待相談の対応についても話し合った。

○他の部会と合同で行っていききたい。

●計画相談の使用状況はどうなっているのか。

■障害者は9割ほど。障害児は2割ほどである。

○権利擁護の部会も開催するべきではないか。

●武蔵村山市の権利擁護のサービスはどうなっているのか。

○高齢者の権利擁護のサービスが主なものになっている。また、利用に際しての費用が掛かるという問題もある。

●権利擁護については今後の部会で話し合っただきたい。次に放課後等デイサービス事業者部会より報告願う。

○事業所と学校と家庭との連携を深めていくことが議題に上がった。また障害児の社会経験などのために、今までは事業所単体で行っていたことを市内の事業所と合同で何か行事を行っていききたい。例として、移動水族館などが上がった。

●事業所にお風呂が設置されると聞いたが詳細を聞きたい。

○設備が整ってからである。また、全事業所の定員の合計が65名のところ、サービスを受けている障害児は100名。できるだけ武蔵村山市の子どもを市内で受け入れていきたい。

部会に学校関係者が参加するのは教育関係機関では異例のことらしい。いいモデルケースになっていたら良い。

●何か質問はあるか。

○聴覚障害者向けの放課後等デイサービスの事業者はないのか。

■現状として事業者はない。また、保護者からそういった要望もない。

●次はプロジェクトの方に移る。障害者のくらしを考える部会より報告願う。

○市内の道路・歩道についてのアンケート調査を昨年度行い、その結果について話し合った。また防災についても話し合った。昨年度より引き続き、防災について、道路についてを議題としていく。

●何か質問はあるか。

次に障害者のはたらくを考える部会より報告願う。

○就職準備講座を行った。知的障害者10名、精神障害者3名の参加である。就職を考えている方のために履歴書の書き方の指導、面接についての講座、面接練習を行った。

●質問等がなければ、議題に入る。

## 2 議題

(1) 放課後等デイサービス事業者部会に関係団体の出席を求めることについて

■事業者部会であるため本来、出席者は事業者であるが、サービスの向上を図るために教育関係団体に出席を求める。委員の皆様には検討を願う。

○事業者、学校、家庭との連携を深め、日々成長し、体調の変化の著しい障害児の状態をより把握し、サービスの向上を図るためである。また、相談支援の部会の方にも参加してもらい、将来の進路などについても話し合っていきたい。

■了承していただければ、自立支援協議会から参加していただきたい旨の通知を出し、教育関係者の方も仕事として参加できるようになる。

●学校側からも了承が出ていることもあり、私は参加を求めることに異論はないが、委員はどうだろうか。

○異論なし。

●承認とする。次の議題に移る。事務局より説明願う。

## 2 議題

(2) その他

■第1回市議会定例会において「精神障害者も心身障害者医療費助成の制度の対象とすることを求める意見書に関する陳情」が出され、採択されたので、市議会から東京都に対して意見書を送付した。なお、審査する厚生産業委員会の中で精神障害者の当事者や家族などが相談する場がないと言った趣旨の意見があったことから、改めて地域活動支援センターお伊勢の森の資料を配布させて頂いた。障害福祉課としても市民への周知を図っていきたい。

次に資料は無いが、防災対策と言うことで避難所管理運営マニュアルを市

	<p>で策定中であることを報告する。その際、障害者の避難に関して、意見を求める場面が生じることがあると思うが協力を願う。</p> <p>最後に、道路に関してである。平成29年度主要市道第3号線と第17号線の整備を行うが、市としては障害者や家族からの意見があれば、可能な限り反映していきたい方針である。5月末までは意見を募集している。また、障害者のくらしを考える部会で歩道に関するアンケートを募った。30件の意見があり、それに対して市の整備方針が示されたので、資料を確認してほしい。事務局からは以上である。</p> <p>●他の委員からは何かあるか。</p> <p>○介護職員初任者研修講座を開講する。周囲に興味がある人がいたら、教えておいてほしい。</p> <p>○肢体不自由者父母の会が解散し、障害者の家族の団体が減ってきている。障害者の家族同士のつながりを強くする働きかけをお願いしたい。</p> <p>●他に無いようなので、次回の自立支援協議会の開催日についての話に移る。</p> <p>■次回の自立支援協議会は8月24日（木）13時30分からの開催を予定している。各自の予定を確認いただきたい。</p> <p>●次回の開催に関しては事務局の報告の通りである。他になければこれで終わりとする。ご苦勞であった。</p>
--	---

会議の公開・非公開の別	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 ( )	傍聴者： <u>    0    </u> 人
-------------	--	-------------------------

会議録の開示・非開示の別	<input type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等：                    ) <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等：                    )
--------------	--

庶務担当課	健康福祉 部 障害福祉 課（内線：642）
-------	-----------------------

（日本工業規格A列4番）